

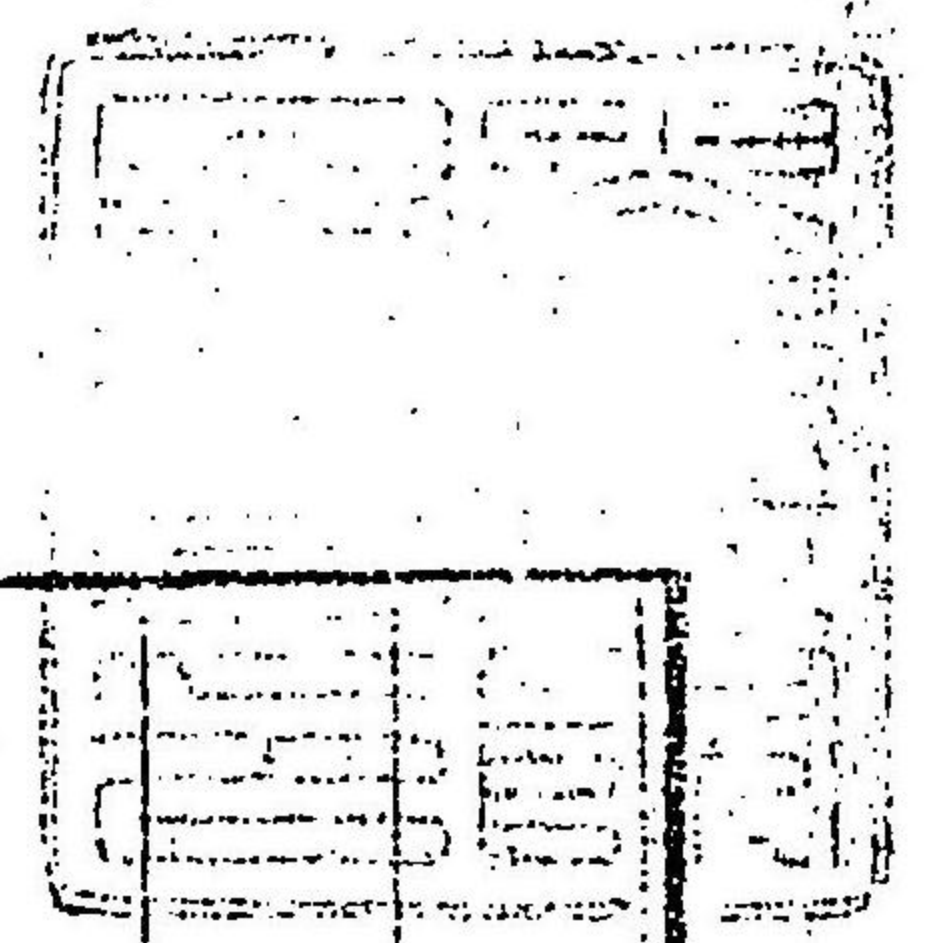
四  
刑  
法  
草  
案

自  
第  
一  
編  
至  
第  
四  
編

W358  
5



1



四四

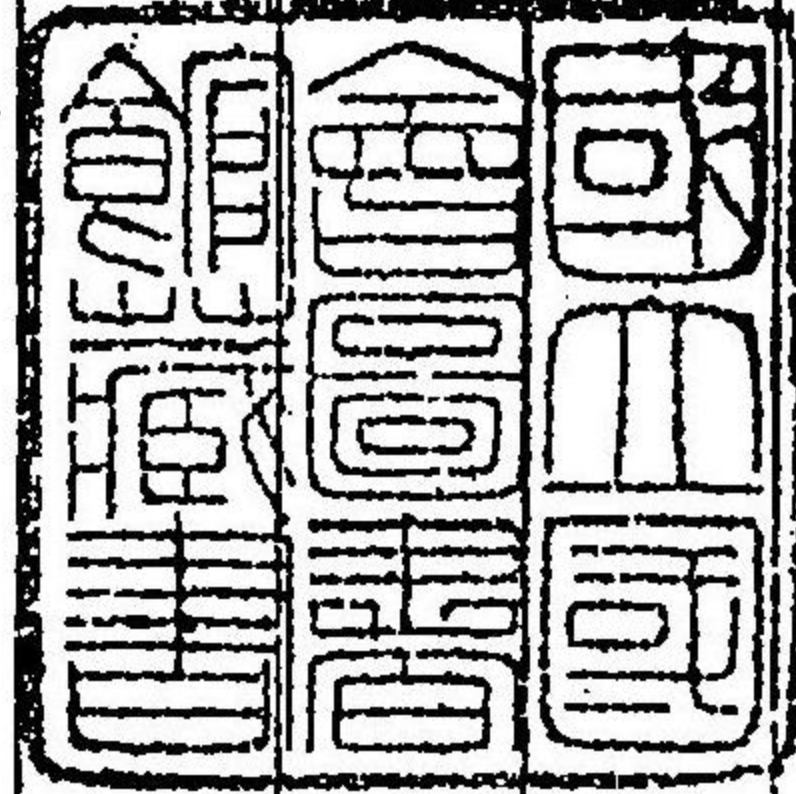
# 刑法草案

自第一編  
至第四編

刑法草案審查局

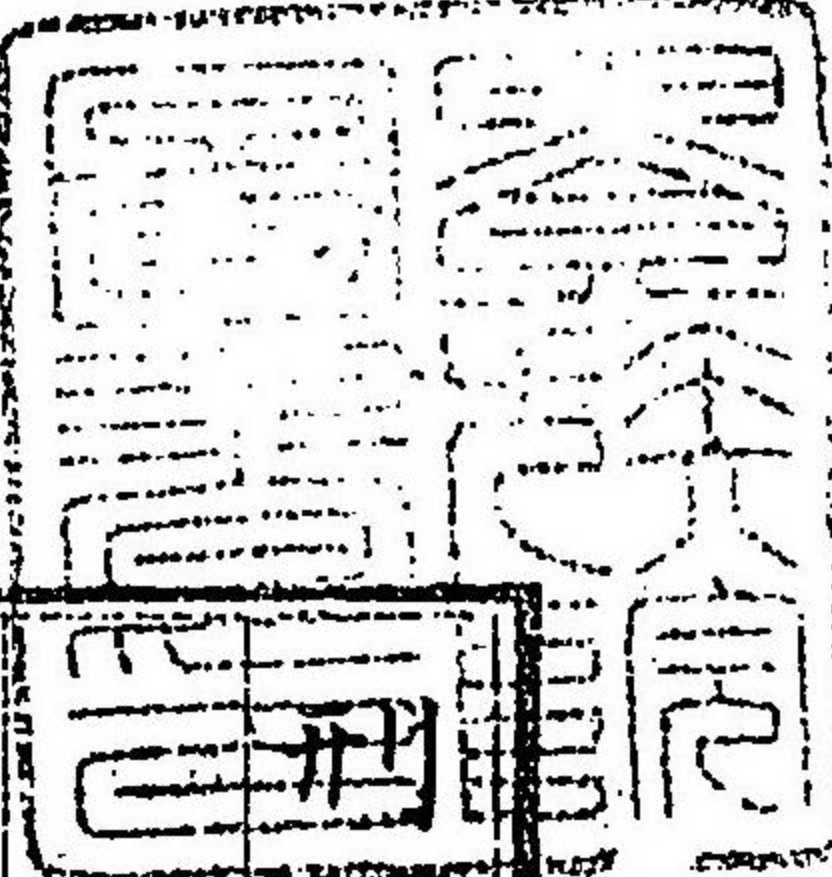


W-35A  
5



45.6.13  
831053

刑罰法



法

第一編 總則

第一章 法例

第一條 凡法律ニ於テ罰ス可キ罪別テ三種ト  
為ス

一 重罪

二 輕罪

三 違警罪

第二條 法律ニ正條トキ者ハ何等ノ所為ト雖  
モ之ヲ罰スルヲ得ス

第三條 法律ハ頒布以前ニ係ル犯罪ニ及ホス  
ヲ得ス

若シ所犯頒布以前ニ在テ未夕判決ヲ經サル

刑罰法



者ハ新舊ノ法ヲ比照シ輕キニ從テ處斷ス  
第四條 此刑法ハ陸海軍ニ關スル法律ヲ以テ  
論ス可キ者ニ施用スルヲ得ス

第五條 此刑法ニ正條ナクシテ他ノ法律規則  
ニ刑名アル者ハ各其法律規則ニ從フ  
若シ他ノ法律規則ニ於テ別ニ總則ヲ掲ケサ  
ル者ハ此刑法ノ總則ニ從フ

### 第二章 刑例

#### 第一節 刑名

第六條 刑ハ主刑及ヒ附加刑ト為ス  
主刑ハ之ヲ宣告ス  
附加刑ハ法律ニ於テ其宣告スル者ト宣告セ  
ザル者トヲ定ム

第七條 左ニ記載スル者ヲ以テ重罪ノ主刑ト  
為ス

一死刑

二無期徒刑

三有期徒刑

四無期流刑

五有期徒刑

六重懲役

七輕懲役

八重禁獄

九輕禁獄

第八條 左ニ記載スル者ヲ以テ輕罪ノ主刑ト  
為ス



一 重禁錮

二 輕禁錮

三 罰金

第九條 左ニ記載スル者ヲ以テ違警罪ノ主刑

ト為ス

一 拘留

二 科料

第十條 左ニ記載スル者ヲ以テ附加刑ト為ス

一 剝奪公權

二 停止公權

三 禁治產

四 監視

五 罰金

六 沒收

第十一條 刑ヲ執行シ及ヒ犯人ヲ檢束スル方

法細目ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

第二節 主刑處分

第十二條 死刑ハ絞首ス但規則ニ定ムル所ノ

官吏臨檢シ獄内ニ於テ之ヲ行フ

第十三條 死刑ハ司法卿ノ命令アルニ非サレ

ハ之ヲ行フヲ得ス

第十四條 大祀令節國祭ノ日ハ死刑ヲ行フ

ヲ禁ス

第十五條 死刑ノ宣告ヲ受タル婦女懷胎ナル

時ハ其執行ヲ停メ分娩後一百日ヲ經ルニ非

サレハ刑ヲ行ハス



第十六條 死刑ノ遺骸ハ親屬故舊請フ者アレ

ハ之ヲ下付ス但式ヲ用ヒテ葬ルヲ許サス

第十七條 徒刑ハ無期有期ヲ分タス島地ニ發

遣シ定役ニ服ス

有期徒刑ハ十二年以上十五年以下ト為ス

第十八條 徒刑ノ婦女ハ島地ニ發遣セス内地

ノ懲役場ニ於テ定役ニ服ス

第十九條 徒刑ノ囚六十歳ニ滿ル者ハ通常ノ

定役ヲ免シ其體カ相當ノ定役ニ服ス

第二十條 流刑ハ無期有期ヲ分タス島地ノ獄

ニ幽閉シ定役ニ服セス

有期流刑ハ十二年以上十五年以下ト為ス

第二十一條 無期流刑ノ囚五年ヲ經過スレハ

幽閉ヲ免シ島地ニ於テ地ヲ限り居住セシム  
ルヲ得

有期流刑ノ囚三年ヲ經過スル者亦同シ

第二十二條 懲役ハ内地ノ懲役場ニ入レ定役

ニ服ス但六十歳ニ滿ル者ハ第十九條ノ例ニ

從フ

重懲役ハ九年以上十一年以下輕懲役ハ六年

以上八年以下ト為ス

第二十三條 禁獄ハ内地ノ獄ニ入レ定役ニ服

セス

重禁獄ハ九年以上十一年以下輕禁獄ハ六年

以上八年以下ト為ス

第二十四條 禁錮ハ禁錮場ニ留置シ重禁錮ハ



定役ニ服シ輕禁錮ハ定役ニ服セス

禁錮ハ重輕ヲ分タス十一日以上五年以下ト

為シ仍ホ各本條ニ於テ其長短ヲ區別ス

第二十五條 定役ニ服スル囚人ノ賃錢ハ分テ

三ト為シ其二分ハ獄舎ノ費用ニ供シ其一分

ハ本犯ニ給與ス但現役百日以内ハ給與ノ限

ニ在ラス

第二十六條 罰金ハ二圓以上ト為シ仍ホ各本

條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

第二十七條 罰金ハ載判確定ノ日ヨリ一月内

ニ納完セシム若シ限内納完セサル者ハ一圓ニ

ラ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ其一圓ニ

滿サル者ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス

罰金ヲ禁錮ニ換フル者ハ更ニ裁判ヲ用ヒス

檢事ノ求ニ因リ裁判所長之ヲ命ス

若シ禁錮限内罰金ヲ納メタル時ハ其經過シ

タル日數ヲ扣除シテ禁錮ヲ免ス但親屬其他

ノ者代テ罰金ヲ納メタル時亦同

第二十八條 拘留ハ拘留所ニ留置シ定役ニ服

セス其刑期ハ一日以上十日以下ト為シ仍ホ

各本條ニ於テ其長短ヲ區別ス

第二十九條 科料ハ五錢以上一圓九十五錢以

下ト為シ仍ホ各本條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

第三十條 科料ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ

納完セシム若シ限内納完セサル者ハ第二十

七條ノ例ニ照シ之ヲ拘留ニ換フ



第三節 附加刑處分

第三十一條 剝奪公權ハ左ノ權ヲ剝奪ス

一 國民ノ特權

二 官吏ト為ルノ權

三 勳章年金位記貴號恩給ヲ有スルノ權

四 外國ノ勳章ヲ佩用スルノ權

五 兵籍ニ入ルノ權

六 裁判所ニ於テ證人ト為ルノ權但單ニ事實

ヲ陳述スルハ此限ニ在ラス

七 後見人ト為ルノ權但親屬ノ許可ヲ得テ子

孫ノ為メニスルハ此限ニ在ラス

八 分散者ノ管財人ト為リ又ハ會社及ヒ共有

財産ヲ管理スルノ權

九 學校長及ヒ教師學監ト為ルノ權

第三十二條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別

ニ宣告ヲ用ヒス終身公權ヲ剝奪ス

第三十三條 禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣

告ヲ用ヒス現在ノ官職ヲ失ヒ及ヒ其刑期間

公權ヲ行フヲ停止ス

第三十四條 輕罪ノ刑ニ於テ監視ニ付シタル

者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス監視ノ期限間公權ヲ

行フヲ停止ス

主刑ヲ免シテ止タ監視ニ付シタル者亦同シ

第三十五條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別

ニ宣告ヲ用ヒス其主刑ノ終ルマテ親カラ財

産ヲ治ムルヲ禁ス但其財産ハ後見人ヲシ



テ之ヲ管理セシム

第三十六條 流刑ノ因幽閉ヲ免セラレタル時ハ行政ノ處分ヲ以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ免スルヲ得

第三十七條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス各本刑經期ノ三分ノ一二等シキ時間ノ監視ニ付ス

第三十八條 輕罪ノ刑ニ附加スル監視ハ之ヲ宣告ス但各本條ニ記載スルノ外監視ニ付スルヲ得ス

第三十九條 死刑及ヒ無期刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス五年間ノ監視ニ付ス

第四十條 監視ノ期限ハ主刑ノ終リタル日ヨリ起算ス主刑ノ期滿免除ヲ得タル時ハ其捕

ニ就キタル日ヨリ起算ス

若シ主刑ヲ免シテ止タ監視ニ付シタル時ハ其裁判確定ノ日ヨリ起算ス

第四十一條 監視ニ付セラレタル者其情狀ニ因リ行政ノ處分ヲ以テ假ニ監視ヲ免スルヲ得

第四十二條 附加ノ罰金ハ之ヲ宣告ス

若シ一月内ニ納完セサル時ハ第二十七條ノ例ニ照シ輕禁錮ニ換ヘ主刑滿限ノ後之ヲ執行ス

第四十三條 左ニ記載シタル物件ハ宣告シテ



官ニ沒收ス但法律規則ニ於テ別ニ沒收ノ例

ヲ定メタル者ハ各其法律規則ニ從フ

一法律ニ於テ禁制シタル物件

ニ犯罪ノ用ニ供シタル物件

三犯罪ニ因テ得タル物件

第四十四條 法律ニ於テ禁制シタル物件ハ何

人ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒收ス犯罪ノ用ニ供

シ及ヒ犯罪ニ因テ得タル物件ハ犯人ノ所有

ニ係リ又ハ所有主ナキ時ノ外之ヲ沒收スル

ヲ得ス

第四節 徵償處分

第四十五條 刑事ノ裁判費用ハ其全部又ハ幾

分ヲ犯人ニ科ス但其費用ノ額ハ別ニ規則ヲ

以テ之ヲ定ム

第四十六條 犯人刑ニ處セラレ又ハ放免セラ

ルト雖モ被害者ノ請求ニ對シ贓物ヲ還給損

害ノ賠償ヲ免カル、ヲ得ス

第四十七條 數人共犯ニ係ル裁判費用贓物ノ

還給損害ノ賠償ハ共犯人ヲシテ之ヲ連帶セ

シム

第四十八條 裁判費用贓物ノ還給損害ノ賠償

ハ被害者ノ請求ニ因リ刑事裁判所ニ於テ民

事ノ定規ニ從ヒ之ヲ審判スルヲ得若シ贓

物犯人ノ手ニアル時ハ請求ナシト雖モ直ニ

ニ所有者ニ還付ス

第五節 刑期計算



第四十九條 刑期ヲ計算スルニ一日ト稱スル

ハ二十四時ヲ以テシ一月ト稱スルハ三十日

ヲ以テシ一年ト稱スルハ曆ニ從フ

受刑ノ初日ハ時間ヲ論セス一日ニ算入シ放

免ノ日ハ刑期ニ算入セス

第五十條 刑ハ裁判確定シタル後ニ非サレハ

之ヲ執行スルヲ得ス

第五十一條 刑期ハ刑名宣告ノ日ヨリ起算ス

若シ上告ヲ為シタル者ハ左ノ例ニ從フ

一 犯人自ラ上告シテ破毀ヲ得タル者ハ前判

宣告ノ日ヨリ起算ス若シ其上告不當ナル

時ハ後判宣告ノ日ヨリ起算ス

二 檢事ノ上告ニ係ル者ハ其破毀ヲ得ルト否

トヲ分タス前判宣告ノ日ヨリ起算ス

三 上告中保釋ヲ得又ハ責付セラレタル者ハ

其日數ヲ刑期ニ算入スルヲ得ス

第五十二條 刑期限内逃走シ再ヒ捕ニ就ク者

ハ其逃走ノ日數ヲ除キ前後受刑ノ日ヲ計算ス

第六節 假出獄

第五十三條 重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者

獄則ヲ謹守シ俊改ノ状アル時ハ其刑期四分

ノ三ヲ經過スルノ後行政ノ處分ヲ以テ假ニ

出獄ヲ許スヲ得

無期徒刑ニ處セラレタル者十五年ヲ經過ス

ルノ後亦同シ

流刑ノ囚ハ第二十一條ニ照シ幽閉ヲ免スル



ノ外假出獄ノ例ヲ用ヒス

第五十四條 徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ許サル、ト

雖モ仍ホ島地ニ居住セシム

第五十五條 假出獄ヲ許サレタル時ハ行政ノ

處分ヲ以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ免スルヲ得

但本刑期限内特別ニ定メタル監視ニ付ス

第五十六條 假出獄中更ニ重禁輕罪ヲ犯シタ

ル者ハ直チニ出獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ハ

刑期ニ算入スルヲ得ス

第五十七條 刑期間更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル

者ハ假出獄ヲ許サス

第七節 期滿免除

第五十八條 刑ノ執行ヲ遁レタル者法律ニ定

メタル期限ヲ經過スルニ因テ期滿免除ヲ得

第五十九條 主刑ハ左ノ年限ニ從テ期滿免除

ヲ得

一死刑ハ三十年

二無期徒刑 二十五年

三有期徒流刑ハ二十年

四重懲役重禁獄ハ十五年

五輕懲役輕禁獄ハ十年

六禁錮罰金ハ七年

七拘留料料ハ一年

第六十條 剝奪公權停止公權及ヒ監視ハ期滿

免除ヲ得ス

附加ノ罰金ハ主刑ト共ニ期滿免除ヲ得



没収ハ五年ヲ經テ期滿免除ヲ得但禁制物ハ  
期滿免除ノ限ニ在ラス

第六十一條 期滿免除ハ刑ノ執行ヲ遁レタル  
日ヨリ起算ス若シ捕ニ就キ再ニ逃走シタル  
時ハ其逃走ノ日ヨリ起算シ開席裁判ニ係ル  
時ハ宣告ノ日ヨリ起算ス

第六十二條 刑ノ執行ヲ遁レタル者ニ對シ逮  
捕ヲ命シタル時ハ最終ノ捕縛狀ヲ出シタル  
日ヨリ期滿免除ヲ起算ス

第八節 復權

第六十三條 公權ヲ剥奪セラレタル者ハ主刑  
ノ終リタル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後其情  
狀ニ因リ將來ノ公權ヲ復スルヲ得

主刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ監視ニ付シタ  
ル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後亦同シ

第六十四條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ直  
ニ復權ヲ得特赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ  
赦狀中ニ記載スルニ非サルハ復權ヲ得ス  
赦ニ因テ復權ヲ得タル者ハ自ラ監視ヲ免シ  
タル者トス

第六十五條 復權ハ勅載ニ非サレハ之ヲ得可  
カラス

第三章 加減例

第六十六條 法律ニ於テ刑ヲ加重減輕ス可キ  
時ハ後ノ數條ニ記載シタル例ニ照シテ加減  
ス但加ヘテ死刑ニ入ルヲ得ス



第六十七條 重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

一死刑

二無期徒刑

三有期徒刑

四重懲役

五輕懲役

第六十八條 國事ニ關スル重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

一死刑

二無期徒刑

三有期徒刑

四重禁獄

五輕禁獄

第六十九條 輕懲役ニ該ル者減輕ス可キ時ハ

二年以上五年以下ノ重禁獄ニ處スルヲ以テ一等ト為ス

輕禁獄ニ該ル者減輕ス可キ時ハ一年以上五年以下ノ輕禁獄ニ處スルヲ以テ一等ト為ス

第七十條 禁錮罰金ニ該ル者減輕ス可キ時ハ

各本條ニ記載シタル刑期金額ノ四分ノ一ヲ減スルヲ以テ一等ト為シ其加重ス可キ時モ亦四分ノ一ヲ加フルヲ以テ一等ト為ス

輕罪ノ刑ハ加ヘテ重罪ニ入ルヲ得ス但禁錮ハ加ヘテ七年ニ至ルヲ得

第七十一條 禁錮ヲ減盡シタル時ハ拘留ニ處



シ罰金ヲ減盡シタル時ハ科料ニ處ス禁錮罰金ヲ減シテ其短期十日以下寡數一圓九十五錢以下ニ及フ時ハ亦拘留科料ニ處スルヲ得

第七十二條 拘留科料ニ該ル者加減ス可キ時ハ禁錮罰金ノ例ニ照シ其四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト為ス  
違警罪ノ刑ハ加ヘテ輕罪ニ入ルヲ得ス但拘留ハ加ヘテ十二日ニ至ルヲ得減シテ一日以下ニ降スヲ得ス  
科料ハ加ヘテ二圓四十錢ニ至ルヲ得減シテ五錢以下ニ降スヲ得ス

第七十三條 禁錮拘留ヲ加減スルニ因テ其期

限ニ零數ヲ生シ一日ニ滿サル時ハ之ヲ除棄ス

第七十四條 附加ノ罰金ハ主刑ニ從テ加減シ其金額ノ四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト為ス若シ減盡シタル時ハ止タ主刑ヲ科ス

第四章 不論罪及ヒ減輕

第一節 不論罪及ヒ宥恕減輕

第七十五條 抗拒ス可カラサル強制ニ遇ヒ其意ニ非サルノ所為ハ其罪ヲ論セス

天災又ハ意外ノ變ニ因リ避ク可カラサル危難ニ遇ヒ自己若クハ親屬ノ身軀ヲ防衛スルニ出タル所為亦同シ



第七十六條 本屬長官ノ命令ニ從ヒ其職務ヲ以テ為シタル者ハ其罪ヲ論セス

第七十七條 罪ヲ犯ス意ナキノ所為ハ其罪ヲ論セス但法律ニ於テ別ニ疎虞懈怠ノ罪ヲ定メタル者ハ此限ニ在ラス

罪ト為ル可キ事實ヲ知ラスシテ犯シタル者ハ其罪ヲ論セス

罪本重カル可クシテ犯ス時知ラサル者ハ其重キニ從テ論スルヲ得ス

法律規則ヲ知ラサルヲ以テ犯スノ意ナシト為スヲ得ス

第七十八條 罪ヲ犯ス時知覺精神ノ喪失ニ因テ是非ヲ辨別セサル者ハ其罪ヲ論セス

第七十九條 罪ヲ犯ス時十二歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ論セス但滿八歳以上ノ者ハ情狀ニ因リ滿十六歳ニ過キサレバ時間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ得

第八十條 罪ヲ犯ス時滿十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ其所為是非ヲ辨別シタルト否トヲ審察シ辨別ナクシテ犯シタル時ハ其罪ヲ論セス但情狀ニ因リ滿二十歳ニ過キサレバ時間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ得

若シ辨別アリテ犯シタル時ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ二等ヲ減ス

第八十一條 罪ヲ犯ス時滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ



減ス

第八十二條 瘖啞者罪ヲ犯シタル時ハ其罪ヲ論セス但情状ニ因リ五年ニ過キサル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ得

第八十三條 違警罪ハ滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ト雖モ其罪ヲ宥恕スルヲ得ス  
滿十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ宥恕シテ一等ヲ減ス十二歳ニ滿サル者及ヒ瘖啞者ハ其罪ヲ論セス

第八十四條 此節ニ記載スルノ外特別ノ不論罪者恕減輕ハ各本條ニ於テ之ヲ記載ス

第二節 自首減輕

第八十五條 罪ヲ犯シ事未タ發覺セサル前ニ

於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ニ一等ヲ減ス但謀放殺ニ係ル者ハ自首減輕ノ限ニ在ラス

第八十六條 財産ニ對スル罪ヲ犯シタル者自首シテ其贓物ヲ還給シ損害ヲ賠償シタル時ハ自首減等ノ外仍ホ本刑ニ二等ヲ減ス其全部ヲ還償セスト雖モ半数以上ヲ還償シタル時ハ一等ヲ減ス

第八十七條 財産ニ對スル罪ヲ犯シ被害者ニ首服シタル者ハ官ニ自首スルト同ク前二條ノ例ニ照シテ處断ス

第八十八條 此節ニ記載スルノ外本條別ニ自首ノ例ヲ掲ケタル者ハ各其本條ニ從フ

第三節 酌量減輕



第八十九條 重罪輕罪違警罪ヲ分タス所犯情

状原諒ス可キ者ハ酌量シテ本刑ヲ減輕スル

ヲ得

法律ニ於テ本刑ヲ加重シ又ハ減輕ス可キ者

ト雖モ其酌量ス可キ時ハ仍ホ之ヲ減輕スル

ヲ得

第九十條 酌量減輕ス可キ者ハ本刑ニ一等又

ハ二等ヲ減ス

第五章 再犯加重

第九十一條 先ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル者

再犯重罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第九十二條 先ニ重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタ

ル者再犯輕罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第九十三條 先ニ違警罪ノ刑ニ處セラレタル

者再犯違警罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

但一年内再ヒ其違警罪裁判所ノ管轄内ニ於

テ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スル

ヲ得ス

第九十四條 再犯加重ハ初犯ノ裁判確定ノ後

ニ非サレハ之ヲ論スルヲ得ス

第九十五條 刑期限内再ヒ罪ヲ犯スニ因リ刑

ヲ宣告シタル時ハ先ツ其定役ニ服ス可キ者

ヲ執行シ定役ニ服セサル者ヲ後ニス若シ初

犯再犯共ニ定役ニ服スル刑ニ該ル時又ハ共

ニ定役ニ服セサル刑ニ該ル時ハ先ツ其重キ

者ニ執行ス



其罰金科料ニ該ル者ハ順序ニ拘ハラス各自ニ之ヲ徴収ス

第九十六條 陸海軍裁判所ニ於テ判決ヲ經タル者再ヒ重罪輕罪ヲ犯シタル時ハ初犯ノ罪常律ニ從ヒ處斷シタル者ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

第九十七條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ再ヒ罪ヲ犯スト雖モ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

第九十八條 三犯以上ノ者ト雖モ其加重ノ法ハ再犯ノ例ニ同シ

第六章 加減順序  
第九十九條 犯罪ノ情狀ニ因リ總則ニ照シ同

時ニ本刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ左ノ順序ニ從テ其刑名ヲ定ム但從犯及ヒ未遂犯罪ノ減等其他各本條ニ記載スル特別ノ加重減輕ハ其加減シタル者ヲ以テ本刑ト為ス

- 一 再犯加重
- 二 宥恕減輕
- 三 自首減輕
- 四 酌量減輕

第七章 數罪俱發

第百條 重罪輕罪ヲ犯シ未タ判決ヲ經スニ罪以上俱ニ發スル時ハ一ノ重キニ從テ處斷ス重罪ノ刑ハ刑期ノ長キ者ヲ以テ重ト為シ刑期ノ等キ者ハ定役アル者ヲ以テ重ト為ス



輕罪ノ刑ハ其所犯情状最重キ者ニ從テ處断ス

第百一條 違警罪ニ罪以上俱ニ發スル時ハ各自ニ其刑ヲ科ス若シ重罪又ハ輕罪ト俱ニ發スル時ハ一ノ重キニ從フ

第百二條 一罪前ニ發シ己ニ判決ヲ經テ餘罪後ニ發シ其輕ク若クハ等キ者ハ之ヲ論セス其重キ者ハ更ニ之ヲ論シ前發ノ刑ヲ以テ後發ノ刑ニ算入ス但前發ノ刑罰金料料ニ該リ己ニ納完シタル者ハ第三十七條ノ例ニ照シ折算シテ後發ノ刑期ニ算入ス

第百三條 數罪俱ニ發シ一ノ重キニ從フ時ト雖モ其沒收及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

### 第八章 數人共犯

#### 第一節 正犯

第百四條 二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆正犯ト為シ各自ニ其刑ヲ科ス

第百五條 詐欺脅迫贈與締約威權其他故意ヲ以テ人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯サシメタル者亦正犯ト為ス

第百六條 正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス可キ時ハ他ノ正犯從犯及ヒ教唆者ニ及ホス

第百七條 犯人ノ多數ニ因リ刑ヲ加重ス可キ時ハ教唆者ヲ算入シテ多數ト為ス

第百八條 事ヲ指定シテ犯罪ヲ教唆スルニ當



リ犯人教唆ニ乗シ其指定シタル以外ノ罪ヲ  
犯シ又ハ其現ニ行フ所ノ方法教唆者ノ指示  
シタル所ト殊ナル時ハ左ノ例ニ照シテ教唆  
者ヲ處断ス

一 所犯教唆シタル罪ヨリ重キ時ハ止夕其指  
定シタル罪ニ從テ刑ヲ科ス

二 所犯教唆シタル罪ヨリ輕キ時ハ現ニ行フ  
所ノ罪ニ從テ刑ヲ科ス

第二節 從犯

第百九條 重罪輕罪ヲ犯スルヲ知テ器具ヲ給  
與シ又ハ誘導指示シ其他豫備ノ所為ヲ以テ  
正犯ヲ幫助シ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ  
從犯ト為シ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ス但正犯現

ニ行フ所ノ罪從犯ノ知ル所ヨリ重キ時ハ正  
夕其知ル所ノ罪ニ照シ一等ヲ減ス

第百十條 身分ニ因リ刑ヲ加重ス可キ者從犯  
ト為ル時ハ其重キニ從テ一等ヲ減ス

正犯ノ身分ニ因リ刑ヲ減免ス可キ時ト雖モ  
從犯ノ刑ハ其輕キニ從テ減免スルヲ得ス

第九章 未遂犯罪

第百十一條 罪ヲ犯サンコトヲ誤リ又ハ其豫備  
ヲ為スト雖モ未夕其事ヲ行ハサル者ハ本條  
別ニ刑名ヲ記載スルニ非サレハ其刑ヲ科セ  
ス

第百十二條 罪ヲ犯サントシテ已ニ其事ヲ行  
フト雖モ犯人意外ノ障礙若クハ舛錯ニ因リ



未夕遂ケサル時ハ己ニ遂ケタル者ノ刑ニ一  
等又ハニ等ヲ減ス

第百十三條 輕罪ヲ犯サントシテ未夕遂ケサ  
ル者ハ本條別ニ記載スルニ非サレハ前條ノ  
例ニ照シテ其罪ヲ論スルヲ得ス

第百十四條 違警罪ヲ犯サントシテ未夕遂ケ  
サル者ハ其刑ヲ科セス

第十章 親屬例

第百十五條 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左  
ニ記載シタル本宗及ヒ姻族ノ親ヲ云フ但本  
條別ニ親屬ノ目ヲ掲ケタル者ハ此限ニ在ラ  
ス

一 夫婦祖父母父母

二 配偶者ノ祖父母父母

三 子孫及ヒ其配偶者

四 兄弟姊妹伯叔父姑舅姨姪甥及ヒ其配偶者

五 配偶者ノ兄弟姊妹伯叔父姑舅姨姪甥

六 婦ノ前夫ノ子







茅二編 公益ニ関スル重罪輕罪

茅一章 皇室ニ對スル罪

茅百十六條 天皇皇后及ヒ皇太子ニ對シ危害

ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス

茅百十七條 天皇皇后及ヒ皇太子ニ對シ不敬

ノ所為アル者ハ三月以上五年以下ノ重禁錮

ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

山陵ニ對シ不敬ノ所為アル者亦同シ

茅百十八條 皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ

死刑ニ處ス其危害ヲ加ヘントシタル者ハ無

期徒刑ニ處ス

茅百十九條 皇族ニ對シ不敬ノ所為アル者ハ

二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上



五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百二十條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪

ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視

ニ付ス

第二章 國事ニ関スル罪

第一節 内乱ニ関スル罪

第百二十一條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊

シ其他朝憲ヲ紊乱スルヲ目的ト為シ内乱

ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處断ス

一 首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處ス

二 群眾ノ指揮ヲ為シ其他樞要ノ職務ヲ為シ

タル者ハ無期流刑ニ處シ其情輕キ者ハ有

期流刑ニ處ス

三 兵器金穀ヲ資給シタル者又ハ諸般ノ職務

ヲ為シタル者ハ重禁獄ニ處シ其情輕キ者

ハ輕禁獄ニ處ス

四 教唆ニ乘シテ附加隨行シ又ハ指揮ヲ受ケ

テ雜役ニ供シタル者ハ二年以上五年以下

ノ輕禁錮ニ處ス

第百二十二條 内乱ヲ起スル目的ヲ以テ兵器

彈藥船舶金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シタル

者ハ已ニ内乱ヲ起シタル者ト同刑ニ處ス

第百二十三條 政府ヲ擾乱スルノ目的ヲ以テ

人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ擧ルニ至ラスト雖

モ内乱ト同ク論シ其教唆者及ヒ下手者ヲ死

刑ニ處ス



第百二十四條 前三條ノ罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ科ス

第百二十五條 兵隊ヲ招募シ又ハ兵器金穀ヲ準備シ其他内乱ノ豫備ヲ為シタル者ハ第百二十一條ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

内乱ノ陰謀ヲ為シ未タ豫備ニ至ラサル者ハ各二等ヲ減ス

第百二十六條 内乱ノ豫備又ハ陰謀ヲ為スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ附ス

第百二十七條 内乱ノ前後ニ於テ情ヲ知テ犯人ニ聚會所ヲ給與シ又ハ犯人ヲ藏匿シ若クハ

隠避セシメタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス但犯人ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第百二十八條 内乱ニ乘シテ人ノ身體財産ニ對シ内乱ノ目的ニ関セサル重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ處断ス

第百二十九條 外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又

ハ外國ト交戦中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附屬シタル者ハ死刑ニ處ス

第百三十條 交戦中敵兵ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ本國及ヒ同盟國ノ都府城塞又ハ兵器彈藥船艦其他軍事ニ関スル土地



家屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス

第百三十一條 本國及ヒ同盟國ノ軍情機密ヲ敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險事ヲ敵國ニ通知シタル者ハ無期流刑ニ處ス

敵國ノ間諜ヲ内地ニ誘導シ又ハ之ヲ藏匿シタル者亦同シ

第百三十二條 陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲ為ス者交戦ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其賂遺ヲ收受シテ故サラニ命令ニ違背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル時ハ有期流刑ニ處ス

第百三十三條 外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者ハ有期流刑ニ處ス其豫備ニ止ル者ハ一等又ハ二等ヲ減ス

第百三十四條 外國交戦ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布告シタル時其布告ニ違背シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百三十五條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ利ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス

第三章 靜謐ヲ害スル罪

第一節 兇徒聚衆ノ罪

第百三十六條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀



リ官吏ノ説諭ヲ受クルト雖モ仍ホ鮮敢セサル者首魁及ヒ教唆者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス其餘ノ附従ハ二圓以上五圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十七條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ為シタル者首魁及ヒ教唆者ハ重懲役ニ處ス其嘯聚ニ應シ煽動シテ勢ヲ助ル者ハ輕懲役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス附和隨行スル者ハ一圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十八條 暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家屋船舶倉庫等ヲ燒燬シタル時ハ現ニ手ヲ下

シ及ヒ火ヲ放ツ者ヲ死刑ニ處ス首魁及ヒ教唆者情ヲ知テ割セサル者ハ同刑ニ處ス

第百二十九條 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

第百二十九條 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ為ス可カラサル事件ヲ行ハシメタル者亦同シ

第百四十條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ



加へ重キニ從テ處断ス

第百四十一條 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
其目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演說ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

第百四十二條 已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス  
若シ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ為シテ逃走シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁

錮ニ處ス但無期徒刑ノ囚徒此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ獄則ニ依テ處分ス

第百四十三條 已決囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト雖モ再犯ヲ以テ論スルノ限ニ在ラス其刑期内再ヒ逃走シタル者ハ再犯ヲ以テ論ス

第百四十四條 未決ノ囚徒入監中逃走シタル者ハ第百四十二條ノ例ニ同シ但原犯ノ罪ヲ判決スル時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照シテ處断ス

第百四十五條 囚徒三人以上通謀シテ逃走シタル時ハ第百四十二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第百四十六條 囚徒ヲ逃走セシムル為ノ兇器



其他ノ器具ヲ給與シ又ハ逃走ノ方法ヲ指示シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス囚徒ノ逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ

第百四十七條 囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ輕懲役ニ處ス

第百四十八條 囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者囚徒ニ通謀シ若クハ故意ヲ以テ逃走セシメタル時ハ前條ノ刑ニ同シ

第百四十九條 前數條ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第百五十條 看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十一條 犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監視ニ付セラレタル者ホルヲ知テ故サラニ之ヲ藏匿シ若クハ隠避セシメタル者ハ十一日以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス



若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時  
ハ一等ヲ加フ

第百五十二條 他人ノ罪ヲ免カレシメ  
圖リ其罪証ト為ル可キ物件ヲ隠蔽シタル者  
ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓  
以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル者若シ  
犯人ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第四節 附加刑ノ執行ヲ適ルノ罪

第百五十四條 公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ  
停止セラレタル者私ニ其權ヲ行ヒタル時ハ  
一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上  
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十五條 監視ニ付セラレタル者其規則  
ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重  
禁錮ニ處ス

第百五十六條 前二條ノ罪ハ其刑期内再ヒ犯  
シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヲ  
得ス

第五節 私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ  
及ヒ所有スル罪

第百五十七條 官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得ス  
シテ陸海軍ノ用ニ供スル銃砲彈藥其他破裂  
質ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月以上二年以  
下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ  
罰金ヲ附加ス其之ヲ輸入シタル者亦同シ



前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

茅百五十八條 前條ノ罪ニ関スルト雖モ職工又ハ雇入ニシテ止タ正犯ノ使令ニ供シタル者ハ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

茅百五十九條 前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

茅百六十條 茅百三十七條ニ記載シタル物品ヲ私ニ所有シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

茅百六十一條 茅百五十七條ニ記載シタル物

品ノ製造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ供ス可キ者ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ没収ス

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

茅百六十二條 故意ヲ以テ道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ往來ヲ妨害シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

茅百六十三條 偽計又ハ威力ヲ以テ郵便ヲ妨害シ若クハ之ヲ阻止シタル者ハ亦前條ニ同シ

茅百六十四條 故意ヲ以テ電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ條線ヲ切斷シテ電氣ヲ不通ニ致



シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處  
シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ器械柱木條線ヲ損壞シテ電信ノ妨害ヲ  
為スト雖モ不通ニ至ラサル者ハ一等ヲ減ス

第百六十五條 瀛車ノ往來ヲ妨害スル為メ鐵  
道及ヒ其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ

為シタル者ハ重懲役ニ處ス

第百六十六條 船舶ノ往來ヲ妨害スル為メ燈  
臺浮標其他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損

害シ又ハ詐偽ノ標識ヲ點示シタル者ハ亦前  
條ニ同シ

第百六十七條 前數條ニ記載シタル罪若シ其  
事務ニ關スル官吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタ

ル時ハ各本刑ニ照シ一等ヲ加フ

第百六十八條 第百六十二條ノ罪ヲ犯シ因テ  
人ヲ殺傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照

シ重キニ從テ處斷ス

第百六十九條 第百六十五條第百六十六條ノ  
罪ヲ犯シ因テ瀛車ヲ顛覆シ又ハ船舶ヲ覆没

シタル時ハ無期徒刑ニ處シ人ヲ死ニ致シタ  
ル時ハ死刑ニ處ス

第百七十條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サン  
トシテ未ダ遂ケタル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照

シテ處斷ス

第七節

人ノ住所ヲ侵ス罪

第百七十一條 晝間故ナク及ヒ入ノ住居シタ



ル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入りタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處スル若シ左ニ記載シタル所為アル時ハ一等ヲ加フ

一 門戸牆塼ヲ踰越損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キテ入りタル時

二 兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ携帶シタル時

三 暴行ヲ為シテ入りタル時

四 二人以上ニテ入りタル時

第七十二條 夜間故ナク及ヒ人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入りタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ前條ニ記載シタル加重ス可キ所為アル時ハ一等ヲ加フ

第七十三條 故ナク皇居禁苑離宮行在所及ヒ山陵内ニ入りタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪

第七十四條 官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス若シ監守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ

第七十五條 官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ盜取シ又ハ毀壞シタル者ハ盜罪及ヒ毀壞ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス



第百七十六條 監中者其懈怠ニ因テ封印ヲ破棄シ又ハ其物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪

第百七十七條 陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スル權アル官署ヨリ其要求ヲ受ケ故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百七十八條 陸海軍ノ徵兵ニ編入セラルル可キ者身軀ヲ毀傷シテ疾病ヲ作為シ其他詐偽ノ所為ヲ以テ免役ヲ圖リタル時ハ一月以上

一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ニ囑託シ其姓名ヲ詐稱シ代テ徵募ニ應セシメタル者亦同シ其囑託ヲ受ケテ徵募ニ應シタル者ハ第百二十九條ノ例ニ照シテ處断ス

第百七十九條 醫師化學家其他職業ニ因テ官署ヨリ解剖分析又ハ鑑定ニ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十條 裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ



處ス

第百八十一條 傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ檢査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス  
獸類傳染病流行ノ際獸醫此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ一等ヲ減ス

第四章 一般ノ信用ヲ害スル罪

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪

第百八十二條 内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ偽造シテ行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス  
若シ寔造シテ其價額量目ヲ増減シ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

ル者ハ輕懲役ニ處ス

第百八十三條 内國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ有期徒刑ニ處ス  
若シ寔造シテ行使シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百八十四條 官許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙幣ヲ偽造シ若クハ變造シテ行使シタル者ハ内外國ノ區別ニ從ヒ前二條ノ例ニ照シテ處断ス

第百八十五條 内國通用ノ銅貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス



若シ變造シテ行使シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百八十六條 前數條ニ記載シタル貨幣ノ偽造變造已ニ成テ未タ行使セサル者ハ各本刑ニ照シ一等ヲ減シ其未タ成ラサル者ハ各二等ヲ減ス

若シ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未タ着手セサル者ハ各三等ヲ減ス

第百八十七條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ雇ヲ受ケタル職工ハ前數條ニ記載シタル犯人ノ受ク可キ刑ニ照シ各一等ヲ減ス若シ職工ノ補助ヲ為シテ雜役ニ供シタル者

ハ職工ノ刑ニ照シ一等又ハ二等ヲ減ス

第百八十八條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者ハ偽造變造ノ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

第百八十九條 偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入シタル者ハ偽造變造ノ刑ニ同シ

第百九十條 偽造變造ノ情ヲ知テ貨幣ヲ取受シ之ヲ行使シタル者ハ偽造變造シテ行使シタル者ノ刑ニ照シ二等ヲ減ス

其未タ行使セサル者ハ三等ヲ減ス

第百九十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス



第百九十二條 貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入取  
受シタル者未タ行使セサル前ニ於テ官ニ自  
首シタル時ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下  
ノ監視ニ付ス

若シ職工雜役及ヒ房屋ヲ給與シタル者未タ  
行使セサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ  
免ス

第百九十三條 貨幣ヲ取受スルノ後ニ於テ偽  
造又ハ變造ナルヲ知リ行使シタル者ハ其  
價額ニ倍ノ罰金ニ處ス但其罰金ハ二圓以下  
ニ降スヲ得ス

第百九十四條 官印ヲ偽造スル罪

御璽國璽ヲ偽造シ又ハ其偽璽

ヲ使用シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第百九十五條 各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽  
印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

第百九十六條 產物商品等ニ押用スル官ノ記  
號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者  
ハ輕懲役ニ處ス

書籍什物等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造  
シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ一年以上三  
年以下ノ重禁錮ニ處ス

第百九十七條 御璽國璽官印記號印章及ヒ其  
影蹟ヲ盜用シタル者ハ前數條記載シタル偽  
造ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ監守者自ラ犯シタル時ハ偽造ノ刑ニ同



シ

第百九十八條 官ヨリ發行スル各種ノ印紙界紙及ヒ郵便切手ヲ偽造變造シ又ハ其情ヲ知テ之ヲ使用シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百九十九條 已ニ貼用シタル各種ノ印紙及ヒ郵便切手ヲ再ヒ貼用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪

第二百二條 官ノ文書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

官ノ文書ニ記載シタル條件及ヒ年月日姓名ヲ變換シテ行使シタル者亦同シ

第二百二條 公債證書地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ偽造シ若クハ變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ無記名ノ公債證書ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

第二百三條 官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シテ各一等ヲ加フ  
其文書ヲ毀棄シタル者亦同シ



第二百四條 官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印  
ヲ偽造シ又ハ盗用シタル者ハ偽造官印ノ各  
本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第四百節 私印私書ヲ偽造スル罪

第二百五條 他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタ  
ル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五  
圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
若シ他人ノ私印及ヒ其影蹟ヲ盗用シタル者  
ハ一等ヲ減ス

第二百六條 為替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス  
可キ證書又ハ金額ト交換ス可キ約定手形ヲ  
偽造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス  
手形證書ニ記載シタル金額姓名年月日土地

其他書中ノ條件ヲ變換シ又ハ詐偽ノ裏書ヲ  
為シテ行使シタル者亦同シ

第二百七條 賣買貸借贈遺交換其他權利義務  
ニ關スル證書ヲ偽造シ若クハ變換シテ行使  
シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處  
シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其餘ノ私書ヲ偽造シ若クハ變換シテ行使シ  
タル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ  
二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百八條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サン  
トシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照  
シテ處断ス

第二百九條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪



ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪

第二百十條 官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官印ヲ偽造シ又ハ盗用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シテ處断ス

第二百十一條 屬籍身分姓名ヲ詐稱シ其他詐偽ノ所為ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

官吏情ヲ知テ其免狀鑑札ヲ下付シタル者ハ一等ヲ加フ

第二百十二條 公務ヲ免カル可キ為メ醫師ノ姓名ヲ用ヒ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ自己ノ為メニシ他人ノ為メニスルヲ分タス一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス醫師囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル者ハ一等ヲ加フ

第二百十三條 陸海軍ノ徴兵ヲ免カル可キ為メ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者及ヒ囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル醫師ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ



第二百十四條 免狀鑑札及ヒ疾病ノ證書ヲ記載シタル條件ヲ交換シテ行使シタル者ハ前數條ニ記載シタル偽造ノ刑ニ同シ

第六節 偽證ノ罪

第二百十五條 刑事ニ関スル證人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者被告人ヲ曲庇スル為メ事實ヲ掩蔽シテ故ヤラニ偽證ヲ為シタル時ハ左ノ例ニ照シテ處断ス

- 一 重罪ヲ曲庇スル為メ偽證シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
- 二 輕罪ヲ曲庇スル為メ偽證シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二

十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

三 違警罪ヲ曲庇スル為メ偽證シタル者ハ違警罪ノ本條ニ依テ處断ス

第二百十六條 偽證ノ為メ被告入適當ノ刑ヲ免カレタル時ハ偽證者ノ刑前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百十七條 被告人ヲ陷害スル為メ故カラニ偽證ヲ為シタル者ハ左ノ例ニ照シテ處断ス

- 一 重罪ニ陥ラシムル為メ偽證シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
- 二 輕罪ニ陥ラシムル為メ偽證シタル者ハ六



月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

三違警罪ニ陥ラシムル為ノ偽證シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百十八條 偽證ノ為ノ被告人刑ニ處セラレタル後ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ偽證者ヲ其刑ニ反坐ス若シ反坐ノ刑前條ニ記載シタル偽證ノ刑ヨリ輕キ時ハ前條ノ刑ニ處ス

其刑期限内ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ現ニ經過シタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ減スルヲ得但減シテ前條偽證ノ刑ヨリ降

スヲ得ス

第百十九條 偽證ノ為ノ被告人死刑ハ處セラレタル時ハ反坐ノ刑一等ヲ減ス其未タ刑

ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ二等ヲ減ス

若シ被告人ヲ死ニ陥ルノ目的ヲ以テ偽證ヲ

為シタル時ハ死刑ニ反坐ス其未タ刑ヲ執行

セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ一等ヲ減ス

第百二十條 民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ偽證ヲ為シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百二十一條 鑑定又ハ通辨ノ為ノ裁判所



ニ呼出カレタル者詐偽ノ陳述ヲ為シタル時  
ハ亦前數條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ  
處断ス

第二百二十二條 偽證又ハ詐偽ノ鑒定通辨ヲ  
為シタル者其事件ノ裁判宣告ニ至ラサル前  
ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

第二百二十三條 賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ  
囑託シテ偽證又ハ詐偽ノ鑒定通辨ヲ為サシ  
メタル者ハ亦偽證ノ刑ニ同シ

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪

第二百二十四條 度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シ  
テ其定規ヲ増減シ之ヲ販賣シタル者ハ二年  
以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十

圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官ノ記號印章ヲ偽  
造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各本條  
ニ照シ重キニ從テ處断ス

第二百二十五條 偽造變造ノ情ヲ知テ其度量  
衡ヲ販賣シタル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ減ス

第二百二十六條 高賈工匠定規ヲ増減シタル  
度量衡ヲ所有シタル者ハ一月以上三月以下  
ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金  
ヲ附加ス

若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐  
欺取財ヲ以テ論ス

第二百二十七條 人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ  
偽造シ又ハ變造シタル者ハ其囑託シタル犯



人ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

第二百二十八條 官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其屬籍身分姓名年齡職業ヲ詐稱シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十九條 官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章若クハ内外國ノ勲章ヲ借用シタル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第二百三十條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十一條 投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計

算スル者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十二條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所為アル時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第五章 一般ノ健康ヲ害スル罪

第一節 阿片烟ヲ販賣スル罪

第二百三十三條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ有期徒刑ニ處ス  
稅関ノ官吏情ヲ知テ阿片烟ヲ輸入セシメシ



ル者ハ一等ヲ加フ

第二百三十四條 阿片烟ヲ吸食スルノ器具ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ重懲役ニ處ス

第二百三十五條 阿片烟ヲ吸食スル為ノ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖ル者ハ輕懲役ニ處ス  
人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦同シ

第二百三十六條 阿片烟ヲ吸食シタル者ハ二年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二百三十七條 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ貯有シ又ハ受寄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二章 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

第二百三十八條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルヲ能ハサルニ至ラシメタル者ハ十一月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十九條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

若シ人ヲ殺スノ意ニ出タル者ハ謀殺ヲ以テ



論ス

第三節 傳染病豫防規則ニ関スル罪

第二百四十一條 傳染病豫防ノ為メ設ケタル規則ニ違背シテ上陸又ハ物品ノ陸揚ヲ為シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ八十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十二條 船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スヲ知テ制セサル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ

第二百四十三條 傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ流行地方ヨリ他處ニ出タル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十四條 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ獸類ヲ他處ニ出シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ関スル罪

第二百四十五條 官許ヲ得スシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ二十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十六條 官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造所ヲ創設スト雖ヒ危害ヲ豫防シ健康



ヲ保護スル規則ニ背キタル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

第二百四十七條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪

第二百四十八條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十九條 規則ニ背キテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第六節 私ニ醫業ヲ為ス罪

第二百五十一條 官許ヲ得スシテ醫業ヲ為シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處ス又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十二條 前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第六章 風俗ヲ害スル罪

第二百五十三條 公然猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ十五日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二



圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百五十四條 風俗ヲ害スル冊子圖書其他

猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者

ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓

以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百五十五條 賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又

ハ博徒ヲ紹結シタル者ハ三月以上一年以下

ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ

附加ス

第二百五十六條 財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ為

シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處

シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其情

ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者亦同シ但飲食物

ヲ賭スル者ハ此限ニ在ラス

賭博ノ器具財物其現場ニ在ル者ハ之ヲ沒収

ス

第二百五十七條 財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利

益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以

上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓

以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百五十八條 神祠佛堂墓所其他禮并所ニ

對シ公然不敬ノ所為アル者ハ十一日以上二

月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓

以下ノ罰金ニ處ス

若シ説教又ハ禮并ヲ妨害シタル者ハ一月以

上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ四圓以上四



十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

第二百五十九條 埋葬ス可キ死屍ヲ毀棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十條 墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十一條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪

第二百六十二條 偽計又ハ威力ヲ以テ穀類其他衆人ノ需用ニ缺ク可カラサル食用物及ヒ膏油薪炭ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

前項ニ記載シタル以外ノ商品賣買ヲ妨害シタル者ハ一等ヲ減ス  
第二百六十三條 偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣又



ハ入札ヲ妨害シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百六十四條 偽計又ハ威力ヲ以テ農工ノ業ヲ妨害シタル者ハ二十日以上四月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百六十五條 農工ノ雇人其雇賃ヲ増サシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變セシムル為メ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計威カヲ以テ妨害ヲ為シタル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ

第百六十六條 雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變スル為メ雇人及ヒ他ノ雇主ニ

對シ偽計威カヲ以テ妨害ヲ為シタル者ハ亦前條ニ同シ

第百六十七條 虚偽ノ風説ヲ流布シテ穀類其他衆人需用物品ノ價直ヲ昂低セシメタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九章 官吏瀆職ノ罪

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

第百六十八條 官吏故意ヲ以テ其管掌ニ係ル法律規則ヲ公布施行セズ又ハ他ノ官吏ノ公布施行ヲ妨害シタル者ハ二月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百六十九條 兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用



スルノ權アル官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮撫ス可キ時ニ當リ故サラニ其處分ヲ為サ、ル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
茅二百七十條 官吏規則ニ違背シテ商業ヲ為シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二節 官吏人民ニ對スル罪

茅二百七十一條 官吏擅ニ威權ヲ用ヒ入ヲシテ其權利ナキ事ヲ行ハシメ又ハ其為ス可キ權利ヲ妨害シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

茅二百七十二條 人ノ身體財産ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ檢事警察官吏其報告ヲ受ケ速ニ保護ノ處分ヲ為サ、ル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

茅二百七十三條 逮捕官吏法律ニ定メタル程式規則ヲ遵守セシテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ監禁シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過ル毎ニ一等ヲ加フ

茅二百七十四條 司獄官吏程式規則ヲ遵守セシテ囚人ヲ監禁シ若クハ囚人ヲ出獄セシ



ム可キノ時ニ至リ之ヲ放免セサル者ハ亦前  
條ノ例ニ同シ

第二百七十五條 前二條ニ記載シタル官吏又  
ハ護送者囚人ニ對シ飲食衣服ヲ屏去シ其他  
苛刻ノ所為ヲ施シタル者ハ三月以上三年以  
下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰  
金ヲ附加ス

因テ囚人ニ傷害ヲ加ヘタル時ハ殴打創傷ノ  
各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處断ス  
第二百七十六條 水火震災ノ際官吏囚人ノ監  
禁ヲ解クヲ急リ因テ死傷ニ致シタル者ハ  
殴打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加フ

第二百七十七條 裁判官檢事及ヒ警察官吏被

告人ニ對シ罪狀ヲ陳述セシムル為ノニ暴行  
ヲ加ヘ又ハ陵辱ノ所為アル者ハ四月以上四  
年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下  
ノ罰金ヲ附加ス

若シ被告人ニ傷害ヲ加ヘタル時ハ殴打創傷  
ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處断  
ス

第二百七十八條 裁判官檢事故ヲクシテ<sup>民事</sup>刑事  
ノ訴ヲ受理セス又ハ遷延シテ審理セサル者  
ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓  
以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其民事ノ訴ニ係ル者亦同シ  
第二百七十九條 官吏人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ



收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ一月以上一  
年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下  
ノ罰金ヲ附加ス

因テ不正ノ處分ヲ為シタル者ハ一等ヲ加フ  
第二百八十條 裁判官民事ノ裁判ニ關シテ  
賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ前條  
ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百八十一條 裁判官檢事警察官吏及ヒ參座  
刑事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ  
聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮  
ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
因テ被告人ヲ曲庇シタル者ハ三月以上三年  
以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上六十圓以下ノ

罰金ヲ附加ス

其被告人ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年以  
下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上百圓以下ノ罰  
金ヲ附加ス若シ枉斷シタル者ノ刑此刑ヨリ  
重キ時ハ第二百十九條第二百二十條ノ例ニ  
照シテ反坐ス

第二百八十二條 裁判官檢事警察官吏及ヒ參  
座賄賂ヲ收受聽許セスト雖此情ニ徇カヒ又  
ハ怨ヲ狹サミ故サラニ被告人ヲ曲庇陷害シ  
タル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第二百八十三條 前數條ニ記載シタル賄賂已  
ニ收受シタル者ハ之ヲ沒收シ費用シタル者  
ハ其價ヲ追徴ス



第三節 官吏財産ニ對ス

第二百八十四條 官吏自ら監守スル所ノ金穀

物件ヲ竊取シタル者ハ輕懲役ニ處ス

因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シ

タル時ハ第二百三條ノ例ニ照シテ處断ス

第二百八十五條 租稅其他諸般ノ入額ヲ徵收

スル官吏故カラニ正數外ノ金穀ヲ徵收シタ

ル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五

圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百八十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ

タル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス



第三編 身軀財產ニ對スル重罪輕罪

第一章 身軀ニ對スル罪

第一節 謀殺故殺ノ罪

第二百八十八條 豫メテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト為シ死刑ニ處ス

第二百八十九條 毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

第二百九十條 故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ故殺ノ罪ト為シ無期徒刑ニ處ス

第二百九十一條 支解折割其他慘刻ノ所為ヲ以テ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百九十二條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル為メ又ハ己ニ犯シテ其罪ヲ免カル、為メ人



ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百九十三條 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘

導シテ危害ニ陥レ死ニ致シタル者ハ故殺ヲ

以テ論シ其豫ノ謀ル者ハ謀殺ヲ以テ論ス

第二百九十四條 謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ

殺シタル者ハ仍ホ謀故殺ヲ以テ論ス

第二節 殴打創傷ノ罪

第二百九十五條 人ヲ殴打創傷ニ因テ死ニ致

シタル者ハ重懲役ニ處ス

第二百九十六條 人ヲ殴打創傷シ其兩目ヲ瞎

シ兩耳ヲ聾シ又ハ兩肢ヲ折リ及ヒ舌ヲ断チ

陰陽ヲ毀敗シ若クハ知覺精神ヲ喪失セシメ

篤疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其一日ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折リ其

他身軀ヲ殘廢シ癡疾ニ致シタル者ハ二年以

上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二百九十七條 人ヲ殴打創傷シ二十日以上

ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ營ムコト能ハサ

ルニ至ラシメタル者ハ一年以上三年以下ノ

重禁錮ニ處ス

其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者ハ一

月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

疾病休業ニ至ラスト雖モ身軀ニ創傷ヲ成シ

タル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處

ス

第二百九十八條 豫メ謀テ人ヲ殴打創傷シ休



業癡篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ前數條ニ記載シタル刑ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百九十九條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル為メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、為ノ人

ヲ毆打創傷シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第三百條 毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル者ハ仍ホ毆打創傷ノ本刑ヲ科ス

第三百一條 二人以上共ニ人ヲ毆打創傷シタル者ハ現ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ輕重ニ從テ

各自ニ其刑ヲ科ス若シ共毆シテ傷ヲ成スノ輕重ヲ知ル丁能ハサル時ハ其重傷ノ刑ニ照

シ一等ヲ減ス但教唆者ハ減等ノ限ニ在ラス

第三百二條 二人以上共ニ人ヲ毆打スルニ當

リ自ラ人ヲ傷セスト雖モ幫助シテ傷ヲ成サシヲタル者ハ現ニ傷ヲ成シタル者ノ刑ニ一等ヲ減ス

第三百三條 健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シテ人ヲ疾苦セシメタル者ハ豫メ謀テ毆打創傷スルノ例ニ照シテ處断ス

第三百四條 人ヲ殺スノ意ニ非スト雖モ故サ

ラニ詐稱誘導シテ危害ニ陥レ因テ疾病死傷ニ致シタル者ハ其豫メ謀ルト否トヲ區別シ

毆打創傷ノ例ニ照シテ處断ス

第三節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不諭罪

第三百五條 自己ノ身軀ニ暴行ヲ受ルニ因リ直チニ怒ヲ發シ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ其



罪ヲ宥恕ス但不正ノ所為ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

第三百六條 毆打シテ互ニ創傷シ其手ヲ下スノ先後ヲ知ルヲ能ハサル者ハ各其罪ヲ宥恕スルヲ得

第三百七條 木夫其婦ノ姦通ヲ覺知シ姦所ニ於テ直チニ姦夫又ハ姦婦ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但先ニ姦通ヲ縱容シタル者ハ此限ニ在ラス

第三百八條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ踰越損壞セントスル者ヲ防止スル為メ之ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス  
第三百九條 前數條ニ記載シタル罪ヲ宥恕ス可キ

罪ハ各本刑ニ照シ二等又ハ三等ヲ減ス

第三百十條 身軀生命ヲ正當ニ防衛シ已ムヲ得サルニ出テ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ自己ノ為メニシ他人ノ為メニスルヲ分タス其罪ヲ論セス但不正ノ所為ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

第三百十一條 左ノ諸件ニ於テ已ムヲ得サルニ出テ人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ論セス  
一 財産ニ對シ放火其他暴行ヲ為ス者ヲ防止スルニ出タル時  
二 盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還スルニ出タル時  
三 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若



クハ踰越損壞スル者ヲ防止スルニ出タル時

第三百十二條 身躰財產ヲ防衛スルニ出ルト雖モ已ムコトヲ得サルニ非スシテ害ヲ暴行人ニ加ヘ又ハ危害已ニ去リタル後ニ於テ勢ニ乘シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者ハ不論罪ノ限ニ在ラス但情狀ニ因リ第三百十條ノ例ニ照シ其罪ヲ宥恕スルコトヲ得

第四節 過失殺傷ノ罪

第三百十三條 疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セズ過失ニ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十四條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ廢篤疾ニ致シタル者ハ一月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十五條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病休業ニ至ラシメタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第五節 自殺ニ關スル罪

第三百十六條 人ヲ教唆シテ自殺セシメ又ハ囑託ヲ受ケテ自殺人ノ為メニ手ヲ下シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其他自殺ノ



補助ヲ為シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百十七條 自己ノ利ヲ圖リ人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者ハ重懲役ニ處ス

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

第三百十八條 擅ニ現行犯ニ非サル人ヲ逮捕シ又ハ私家ニ監禁シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過ル毎ニ一等ヲ加フ

第三百十九條 擅ニ人ヲ監禁制縛シテ毆打拷責シ又ハ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刺ノ所為ヲ施シタル者ハ二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ創傷

シ疾病休業癡篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第三百二十一條 擅ニ人ヲ監禁シ水火震災ノ際其監禁ヲ解ク丁ヲ急リ因テ死傷ニ致シタル者亦前條ノ例ニ同シ

第七節 脅迫ノ罪

第三百二十二條 人ヲ殺サント脅迫シ又ハ人ノ住居シタル家屋ニ放火セント脅迫シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス 毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ財產ニ放火シ及ヒ毀壞劫掠セント脅迫シタル



者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二  
圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十三條 兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯  
シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百二十四條 親屬ニ害ヲ被ラシム可キ事  
ヲ以テ脅迫シタル者ハ直チニ本人ニ對シ脅

迫シタル罪ト同ク前二條ノ例ニ照シテ處断  
ス

第三百二十五條 此節ニ記載シタル罪ハ被害  
者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第八節 墮胎ノ罪

第三百二十六條 懷胎ノ婦女藥物其他ノ方法  
ヲ以テ墮胎シタル者ハ一月以上六月以下ノ

重禁錮ニ處ス

第三百二十七條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎  
セシメタル者ハ前條ノ刑ニ同シ因テ婦女ヲ

死ニ致シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁  
錮ニ處ス

第三百二十八條 醫師穩婆又ハ藥商前條ノ罪  
ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百二十九條 懷胎ノ婦女ヲ威逼シ又ハ誑  
騙シテ墮胎セシメタル者ハ一年以上四年以

下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十條 懷胎ノ婦女ナルヲ知テ毆打  
其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至ラシメタル者

ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス其故サ



ラニ墮胎セシムルノ意ニ出タル者ハ輕懲役ニ處ス

第三百三十一條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ癡篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各木條ニ照シ重キニ後テ處断ス

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

第三百三十二條 八歳ニ滿サル幼者ヲ遺棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス、自ラ生活スルヲ能ハサル老疾者疾病者ヲ遺棄シタル者亦同シ

第三百三十三條 八歳ニ滿サル幼者又ハ老疾者ヲ寥闊無人ノ地ニ遺棄シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十四條 給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ保養ス可キ者前二條ノ罪ヲ犯シタル時ハ各一等ヲ加フ

第三百三十五條 幼者老疾者ヲ遺棄シテ因テ癡疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ重懲役ニ處シ死ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

第三百三十六條 自己ノ所有地又ハ管守ス可キ地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アルヲ知テ之ヲ扶助セズ又ハ官署ニ申告セサル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス若シ疾病ニ罹リ昏倒スル者アルヲ知テ扶助セズ又ハ申告セサル者亦同シ



第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪

第三百三十七條 十二歳ニ滿サル幼者ヲ畧取シ又ハ誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ二年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百三十八條 十二歳以上二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百三十九條 畧取誘拐シタル幼者ナルヲ

ヲ知テ自己ノ家屬僕婢ト為シ又ハ其他ノ名稱ヲ以テ之ヲ收受シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

第三百四十條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但畧取誘拐セラレタル幼者式ニ從テ婚姻ヲ為シタル時ハ其罪ヲ論セス

第三百四十一條 二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取誘拐シテ外國人ニ交付シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪

第三百四十二條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ猥褻ノ所行ヲ為シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ



對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十三條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十四條 十二歳以上ノ婦女ヲ強姦シタル者ハ輕懲役ニ處ス

藥酒等ヲ用ヒ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯亂セシメテ姦淫シタル者ハ強姦ヲ以テ論ス  
第三百四十五條 十二歳ニ滿サル幼女ヲ姦淫シタル者ハ輕懲役ニ處ス若シ強姦シタル者

ハ重懲役ニ處ス

第三百四十六條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三百四十七條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯スニ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス但強姦ニ因テ人ヲ廢篤疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百四十八條 十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シテ媒合シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十九條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ六



月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル者亦同シ

有夫姦ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス若シ本夫先キニ其姦ヲ縱容シタル者ハ告訴ノ効ナシ

第三百五十條 配偶者アル者重子テ婚姻ヲ為シタル時ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪

第三百五十一條 不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者ハ第二百十八條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處断ス

第三百五十二條 誣告ヲ為スト雖モ被告人ノ

推問ヲ殆メサル前ニ於テ誣告者自首シタル時ハ本刑ヲ論セス

第三百五十三條 誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタル時ハ第二百十九條第二百二十條ニ記載シタル例ニ照シテ誣告者ヲ反坐ス

第三百五十四條 惡事醜行ヲ摘發シテ人ヲ誹毀シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハズ左ノ例ニ照シテ處断ス

一公然ノ演說ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ十日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二書類畫圖ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作為シテ人ヲ誹毀シタル者ハ十五日以上六月以



下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ  
罰金ヲ附加ス

第三百五十五條 死者ヲ誹毀シタル者ハ故カ  
ラニ誣罔ニ出タルニ非サレハ前條ノ例ニ照  
シテ處断スルヲ得ス

第三百五十六條 醫師藥高穩婆又ハ代言人代  
書人若クハ神官僧侶其身分職業ニ於テ委託  
ヲ受ケタル事ニ因リ知得タル陰私ヲ故カ  
ニ漏告シタル者ハ誹毀ヲ以テ論シ十一日以  
上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓  
以下ノ罰金ヲ附加ス但裁判所ハ呼出ヲ受ケ  
テ事實ヲ陳述スル者ハ此限ニ在ラス

第三百五十七條 此節ニ記載シタル誹毀ノ罪

ハ被害者又ハ死者ノ親屬ノ告訴ヲ待テ其罪  
ヲ論ス

第十三節 祖父母父母ニ對スル罪

第三百五十八條 子孫其祖父母父母ヲ謀殺故  
殺シタル者ハ死刑ニ處ス

其自殺ニ関スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ  
加フ

第三百五十九條 子孫其祖父母父母ニ對シ毆  
打創傷若クハ<sup>其</sup>健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シ  
其他監禁脅迫及ヒ遺棄誣告誹毀等ノ罪ヲ犯  
シタル者ハ各本條ニ記載シタル凡人ノ刑ニ  
照シ二等ヲ加フ但廢疾ニ致シタル者ハ有期  
徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス



第三百六十條 子孫其祖父母父母ニ對シ衣食ヲ供給セス其他必要ナル奉養ヲ缺ク者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
因テ疾病ニ罹リ及ヒ廢篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第三百六十一條 祖父母父母ニ對シタル殺傷ノ罪ハ特別ノ宥恕及ヒ不論罪ノ例ヲ用フルトヲ得ス但其犯ス時知ラサル者ハ此限ニ在ラス

第二章 財産ニ對スル罪

第一節 竊盜ノ罪

第三百六十二條 人ノ所有物ヲ竊取シタル者

ハ竊盜ノ罪ト為シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十三條 水火震災其他ノ變ニ乘シテ竊盜ヲ犯シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十四條 門戸牆壁ヲ踰越損壞シ若シハ鎖鑰ヲ開キ邸宅倉庫ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百六十五條 二人以上共ニ前三條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百六十六條 兇器ヲ携帯シテ人ヲ住居シタル邸宅ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ輕懲役ニ處ス



第三百六十條 自己ノ所有物ト雖モ典物トシテ他人ニ交付シ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時之ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

第三百六十八條 田野ニ於テ穀類菜菓其他ノ產物ヲ竊取シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十九條 山林ニ於テ竹木礦物其他ノ產物ヲ竊取シ又ハ川澤池沼湖海ニ於テ人ノ生養シ若クハ營業ニ関シタル產物ヲ竊取シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百七十條 牧場ニ於テ牧養ノ獸類ヲ竊取

取シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百七十一條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第三百七十二條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百七十三條 夫婦祖父母父母子孫及ヒ其配偶者又ハ同居ノ兄弟姊妹互ニ其財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論スルノ限ニ在ラス若シ他人其共犯ト為テ財物ヲ分チタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス



第二節 強盜ノ罪

第三百七十四條 人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘテ財物ヲ強取シタル者ハ強盜ノ罪ト爲シ輕懲役ニ處ス

第三百七十五條 強盜左ニ記載シタル情狀アル者ハ一個毎ニ一等ヲ加フ  
一 二人以上共ニ犯シタル時  
二 兇器ヲ携帶シテ犯シタル時

第三百七十六條 強盜人ヲ傷シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百七十七條 強盜ヲ犯シ因テ強姦シタル者ハ無期徒刑ニ處ス  
第三百七十八條 竊盜財ヲ得テ其取還ヲ拒ク

為ノ臨時暴行脅迫ヲ爲シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

第三百七十九條 藥酒等ヲ用ヒ人ヲ醉迷セシメテ其財物ヲ盜取シタル者ハ強盜ヲ以テ論シ輕懲役ニ處ス

第三百八十條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百八十一條 遺失物埋藏物ニ關スル罪  
遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾得テ隱匿シ水主ニ還付セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス



第三百八十二條 他人ノ所有地内ニ於テ埋蔵ノ物品ヲ掘得テ隱匿シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百八十三條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第四百節 家資分散ニ關スル罪

第三百八十四條 家資分散ノ際其財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虚偽ノ負債ヲ増加シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

情ヲ知テ虚偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ為シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百八十五條 家資分散ノ際牒簿ノ類ヲ藏

匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一年以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第五節 詐欺取財及ヒ受寄財物ニ關スル罪

第三百八十六條 人ヲ欺罔シ又ハ恐喝シテ財物若クハ證書類ヲ騙取シタル者ハ詐欺取財ノ罪ト為シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ官私ノ文書ヲ偽造變換シタル者ハ偽造ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第三百八十七條 幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精



神錯亂シタルニ乘シテ其財物若クハ證書類ヲ授與セシメタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百八十八條 物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ其物質ヲ變シ若シクハ分量ヲ偽テ人ニ交付シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百八十九條 他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ販賣交換シ又ハ抵當典物ト為シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

自己ノ不動産ト雖モ己ニ抵當典物ト為シタルヲ欺隱シテ他人ニ賣與シ又ハ重ネテ抵當典物ト為シタル者亦同シ

第三百九十條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百九十一條 受寄ノ財物及ヒ借用物又ハ典物其他委託ヲ受ケタル金額物件ヲ費消シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス若シ騙取拐帶其他詐欺ノ所為アル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十二條 自己ノ所有ニ係ルト雖モ官署ヨリ差押ヘタル物件ヲ藏匿脱漏シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス但家資分散ノ際此罪ヲ犯シタル者ハ第三百八十五條ノ例ニ照シテ處断ス

第三百九十三條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シテ未タ遂ケザル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス



第三百九十四條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第三百七十四條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第六節 贓物ニ關スル罪

第三百九十五條 強竊盜ノ贓物ナル丁ヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄蔵故買若クハ牙保ヲ為シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
此條ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百九十六條 詐欺取財其他ノ犯罪ニ關シタル物件ナル丁ヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄蔵故買若クハ牙保ヲ為シタル者ハ十一日以上一

年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七節 放火失火ノ罪

第三百九十七條 火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百九十八條 火ヲ放テ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百九十九條 火ヲ放テ廢屋及ヒ柴草肥料等ヲ貯フル屋舎ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百條 火ヲ放テ人ヲ乘載シタル船舶漁車ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス



其人ヲ乗載セサル船舶漁車ニ係ル時ハ重懲  
後ニ處ス

第四百一條 火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ穀麦  
又ハ露積シタル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬  
シタル者ハ輕懲後ニ處ス

第四百二條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタ  
ル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第四百三條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處ス  
ル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百四條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬  
シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ  
處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百五條 火藥其他激發ス可キ物品又ハ煤

氣井蒸氣罐ヲ破裂セシメテ人ノ建造物船舶  
等ヲ毀壞シタル者ハ其故意ニ出ルト過失ト  
ヲ分テ放火失火ノ例ニ照シテ處断ス

第八節 決水ノ罪

第四百六條 堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞シ  
テ人ノ住居シタル家屋ヲ漂失シタル者ハ無  
期徒刑ニ處ス

若シ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ流  
失シタル者ハ重懲後ニ處ス

第四百七條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ田  
畝礦坑牧場等ヲ荒廢シタル者ハ輕懲後ニ處  
ス

第四百八條 他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便



蓋ヲ圖ル為メ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其  
他水利ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年以下  
ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金  
ヲ附加ス

第四百九條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ  
失火ノ例ニ照シテ處断ス

第九節 船舶ヲ覆没スル罪

第四百十條 衝突其他ノ所為ヲ以テ故サラニ  
人ヲ乘載シタル船舶ヲ覆没シタル者ハ死刑  
ニ處ス但舟中死亡ナキ時ハ無期徒刑ニ處ス

第四百十一條 前條ノ所為ヲ以テ人ヲ乘載セ  
サル船舶ヲ覆没シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物

ヲ害スル罪

第四百十二條 故意ヲ以テ人ノ家屋其他ノ建  
造物ヲ毀壞シタル者ハ一月以上五年以下ノ  
重禁錮ニ處シ二圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ  
附加ス

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各  
本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第四百十三條 故意ヲ以テ人ノ家屋ニ屬スル  
牆塀及ヒ園池ノ裝飾又ハ田畝ノ樊圍牧場ノ  
柵欄ヲ毀壞シタル者ハ十一日以上三月以下  
ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ  
罰金ニ處ス

第四百十四條 故意ヲ以テ人ノ稼穡竹木其他



需用ノ植物ヲ毀損シタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百十五條 故意ヲ以テ土地ノ經界ヲ表シタル物件ヲ毀壞シ又ハ移轉シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百十六條 故意ヲ以テ人ノ器物ヲ毀棄シ又ハ損害シタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百十七條 故意ヲ以テ人ノ牛馬ヲ殺シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二

圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百十八條 故意ヲ以テ前條ニ記載シタル以外ノ家畜ヲ殺シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第四百十九條 故意ヲ以テ人ノ權利義務ニ關スル證書類ヲ毀棄滅盡シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス



第四編 違警罪

第四百二十條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三

日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上

一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

一規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ

物品ヲ市街ニ運搬シタル者

二規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ

物品又ハ自ラ火ヲ發スハキ物品ヲ貯藏シ

タル者

三官許ヲ得スシテ烟火ヲ製造シ又ハ販賣シ

タル者

四人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟火其他火

器ヲ玩ヒタル者



五蒸氣器械其他烟筒火竈ヲ建造修理シ及ヒ掃除スル規則ニ違背シタル者

六官署ノ督促ヲ背セス崩壊セントスル家屋ノ牆垣ノ修理ヲ為サ、ル者

七官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル者

八自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知テ官署ニ申告セス又ハ他所ニ移シタル者

九人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル者

十密ニ賣淫ヲ為シ又ハ其媒合容止ヲ為シタル者

十一人ノ住居セサル家屋内ニ潜伏シタル者

十二定リタル住居ナク平常學生ノ産業ナクシテ諸方ニ徘徊スル者

十三官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者

十四違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル為ノ偽證シタル者但被告人偽證ノ為ノ刑ヲ免カレタル時ハ第百十七條ノ例ニ從フ

第百二十一條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料ニ處ス

一人家ノ近傍又ハ山林田野ニ於テ濫リニ火ヲ焚ク者

二水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦スハキヲ求メテ受テ傍觀シテ之ヲ背ヒサル者

三不熟ノ菓物又ハ腐敗シタル飲食物ヲ販賣シタル者



四健康ヲ保護スル為メ設ケタル規則又ハ傳染病豫防ノ規則ニ背キタル者

五人ノ通行スヘキ場所ニアル危険、井溝其他四所ニ蓋又ハ防圍ヲ為サ、ル者

六路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ喉シ又ハ驚駭逸セシメタル者

七發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシメタル者

八狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ放チタル者

九斃死人ノ檢視ヲ受ケスシテ埋葬シタル者

十墓碑及之路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚瀆シタル者

十一神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損シタル者

十二公然人ヲ罵詈嘲弄シタル者但訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第十四百二十五條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス

一濫リニ車馬ヲ候驅シテ行人ノ妨害ヲ為シタル者

二制止ヲ肯セスシテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ牽キタル者

三夜中無提燈ニテ車馬ヲ候驅スル者

四木石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケス又



八 標識、點燈ヲ怠リタル者

五 瓦礫ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者

六 禽獸、死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ取除カサル者

七 汚穢物ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者

八 警察、規則ニ違背シテ工商、業ヲ為シタル者

九 醫師、穩婆事故ヲクシテ急病人、招キニ應セサル者

十 死亡ノ申告ヲ為サシテ埋葬シタル者

十一 流言浮説ヲ為シテ人ヲ誑惑シタル者

十二 妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符咒等ヲ為シ人ヲ惑ハシテ利ヲ圖ル者

十三 私有地外へ濫リニ家屋塙埒ヲ設ケ又ハ軒楹ヲ出シタル者

十四 官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キタル者

十五 路上ノ植木市街、常燈及ヒ廁場等ヲ毀損シタル者

十六 道路橋梁其他ノ場所ニ標示シタル通行禁止及ヒ指道標、類ヲ毀棄汚損シタル者

第四百二十六條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日ノ拘留ニ處シ又ハ十錢以上一圓以下ノ料ニ處ス

一 官署ヨリ價額ヲ定カタル物品ヲ定價以上ニ販賣シタル者



- 二 渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ取リ又ハ故トク通行ヲ妨ケタル者
- 三 渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於テ其定價ヲ出カスシテ通行シタル者
- 四 路上ニ於テ賭博ニ類スル高業ヲ為シタル者
- 五 官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ閱キ及  
 其規則ニ違背シタル者
- 六 溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促ヲ受ケ溝渠下水ヲ浚ヘサル者
- 七 制止ヲ肯セスシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列シタル者
- 八 官許ヲ得スシテ獸類ノ官有地ニ放ケ又ハ

牧養シタル者

- 九 身軀ニ刺文ヲ為シ及ヒ之ヲ業トスル者
- 十 他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者
- 十一 他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者
- 第四百二十五條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ五錢以上五十錢以下ノ科料ニ處ス
- 一 橋梁又ハ堤防ノ害ト為ルヘキ場所ニ舟筏ヲ繫キタル者
- 二 牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ又ハ水石薪炭等ヲ堆積シテ行人ノ妨害ヲ為シタル者
- 三 車馬ヲ竝ハ牽テ行人ノ妨害ヲ為シタル者



四水路ニ於テ舟ヲ並ニ通船ノ妨害ヲ為シタル者

五氷雪塵芥等ヲ路上ニ投棄シタル者

六官署ノ督促ヲ受ケテ道路ノ掃除ヲ為サ、ル者

七制止ヲ肯セスニテ路上ニ遊戯ヲ為シ行人ノ妨害ヲ為シタル者

八牛馬ヲ牽キ又ハ繫ク、<sub>レ</sub>ヲ忽カセニシテ行人ヲ妨害ヲ為シタル者

九出入ヲ禁止シタル場所ニ濫リニ出入シタル者

十通行禁止ノ榜示ヲ犯シテ通行シタル者

十一道路ニ於テ放歌高聲ヲ發シテ制止ヲ肯セザル者

十二酩酊シテ路上ニ喧噪シ又ハ醉卧シタル者

十三路上ノ常燈ヲ消シタル者

十四人家ノ牆壁ニ貼紙及ヒ樂書シタル者

十五邸宅ノ番号標札招牌又ハ貸家賣家ノ貼紙其他報告ノ榜標等ヲ毀損シタル者

十六他人ノ田野園圃ニ於テ菜菓ヲ採食シ又ハ花卉ヲ折採シタル者

十七公園ノ規則ヲ犯シタル者

十八通路ナキ他人ノ田畝ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタル者

第四百二十六條 前數條ヲ記載スルノ外各地



方ノ便宜ニシリ定ムル處ノ違警罪ヲ犯シタ  
ル者ハ其罰則ニ從テ處断ス



三

冊  
法  
華  
經  
卷  
之  
一



